



博物館ニュース「SHÛ」 NO. 47

“SHÛ” News of Tamagawa University Museum of Education

2016年9月20日

玉川大學教育博物館



目次

- | | |
|-------------------------|--|
| 展覧会への招待……………2・3 | ピアニスト原智恵子の船旅用大型トランク
真鍮・鉄・木材・革・布など 縦51×横82×高さ57cm
1930年代 及川久美子氏寄贈 |
| 報告・
資料をご寄贈いただきました……5 | ピアニスト原智恵子（1914～2001）は、神戸・須磨に生まれました。13歳でパリへ留学、パリ音楽院に入学した2年後には、同音楽院を1等賞首席で卒業し帰国します。1935年に再渡仏しパリで研鑽を積み、1937年に開催された第3回ショパンコンクールに出場、特別賞を得ます。この頃は、海外旅行がまだ船旅の時代で、衣服などの身の回りの品はこのトランクへ入れて持って行きました。角や側面には、しっかりした金属の補強と鉤が打ち込まれています。擦りキズや持ち手の革の部分の劣化、そして残されているラベルは、当時の様子を伝える要素となっています。 |
| 開館カレンダー・
利用案内……………6 | |

展覧会への招待

文化庁 平成 28 年度支援事業 21 世紀鷹峯フォーラム第 2 回〈東京〉 連携
みる・さわる・つくる・つかう—焼き物大好きの未来世代育成プログラム

焼き物大好き！子供作品展

日本には、脈々と受け継がれてきた世界に誇れる工芸があります。これらは決して博物館でながめるだけのものではなく、人々の暮らしの中で息づき発展してきました。そして、未来を担う子供たちに、鑑賞者、作り手、あるいは使用者といった工芸のよき理解者として、作品に親しんでもらうことが、現代の課題となっています。「21 世紀鷹峯フォーラム」はこの課題を踏まえ、博物館、大学、関係機関等が連携して、工芸を「見る」「学ぶ」「考える」「体感する」など、さまざまなイベントを開催する工芸の祭典です。本学芸術学部と教育博物館は、文化庁支援事業として行われているこのフォーラムの「こども未来工芸プロジェクト」に参加し、陶芸をもとにした「工芸教育プログラム」を考案いたしました。

プログラムの内容は、地域の小学生を対象に、[みる][さわる][つくる][つかう]という陶芸作品にかかわるプロセスを体験してもらい、プログラムの成果発表として当館で展覧会 [みせる] を開催するという内容になっています。参加者は応募された町田市立町田第五小学校・町田市立南大谷小学校・玉川学園 K-12 の 4～6 年生 19 名です。「みる」は 8 月 5 日に町田市立博物館で東南アジアや中国の陶器をもとに鑑賞学習を行いました。次いで 8 月 9 日に、当館で縄文土器、須恵器、明治期の陶磁器などに触れるハンズオン学習 [さわる] と芸術学部陶芸教室で焼き物の器 (皿) を制作するワークショップ [つくる] を実施しました。

展示では、[つかう] として各家庭で子供たちが制作した器に料理を盛りつけ、実際に使った様子を撮影した写真と器を一緒に並べて紹介いたします。本学が考案した教育モデルをもとに、子供たちが一連のプログラムで体験した成果を多くの方々にご高覧いただければ幸いです。



[みる] (8 月 5 日 於：町田市立博物館)



[さわる] (8 月 9 日 於：当館)



[つくる] (8 月 9 日 於：芸術学部陶芸教室)

◆会 期 2016年10月31日(月) ～ 11月13日(日)

◆時 間 9:00 ～ 17:00 (入館は16:30まで) 入館無料

◆休館日 会期中無休

◆主 催 玉川大学芸術学部・玉川大学教育博物館

◆共 催 町田市立博物館 ◆支 援 青少年健全育成玉川学園地区委員会 ◆助 成 文化庁

展覧会への招待

ガスパール・カサド没後50年 原智恵子没後15年記念祭 特別展

〈デュオ・カサド〉～今よみがえるチェリストガスパール・カサドとピアニスト原智恵子の世界～

当館では、20世紀を代表する世界的音楽家・チェリストのガスパール・カサドと、国際的に活躍した日本人女性ピアニストの草分けである原智恵子夫妻の音楽活動を中心とした資料、カサド・原コレクションを所蔵しています。

カサド・原コレクションは、楽譜(出版譜、手稿譜など)、演奏会プログラム、レコード、図書、雑誌など多岐にわたります。手稿譜では、メンデルスゾーンやレスピーギなどの自筆譜に加え、カサド自身の自筆による編曲譜なども数多く存在します。また、出版譜には、19世紀初頭に刊行された楽譜も含まれています。演奏会プログラムは、カサド夫妻はもちろん、同時代の音楽活動を知るきわめて重要な資料といえます。

本展では、カサドと智恵子が〈デュオ・カサド〉として演奏活動を行った1962年から1966年を中心に、音楽家としてのそれぞれのあゆみ、〈デュオ・カサド〉として二人の残した功績を紹介いたします。また、映像・録音の視聴コーナーを設置します。なお会期中には、ギャラリートークやチェロとピアノのミニコンサートも行います。皆さまのご来館をお待ちいたしております。

【展示内容】

1. ガスパール・カサドの足跡
2. 原智恵子の足跡
3. デュオ・カサド
4. カサドと智恵子をめぐる人々
5. 資料の修復



デュオ・カサドコンサートポスター
1963年5月13日(月)パリ



カサドのチェロ
(京都市交響楽団蔵)
展示期間 10/24～11/13

◆会期 2016年10月17日(月)～2017年1月22日(日)

◆時間 9:00～17:00(入館は16:30まで) 入館無料

◆休館日 10/29(土)、10/30(日)、11/14(月)、11/19(土)、11/20(日)、12/24(土)～2017/1/4(水)、1/9(月・祝)

◆協力 京都市交響楽団 ◆後援 文化庁、スペイン大使館

【関連事業】

◆G.カサドの作品によるミニコンサートを下記の日程で行います〈予約不要〉

[日時] 11/13(日)・2017/1/15(日) 各回15:00～16:00

[会場] 玉川学園中学年校舎講堂(教育博物館内から入場)

[内容] G.カサド/レクイエブロス ほか

[演奏] チェロ ペアンテ・ボーマン(元東京交響楽団首席チェロ奏者)ほか

◆会期中に、学芸員が展示資料について解説するギャラリートークを開催します〈予約不要〉

[日時] 10/27(木)・11/3(木・祝)・11/8(火)・12/9(金)・2017/1/17(火)

各回13:30～14:30 ※各回の内容は同一です

2016年「玉川大学教育博物館 ガスパール・カサド
原智恵子コレクション目録」公開記念
ガスパール・カサド没後50年 原智恵子没後15年記念祭

The Memorial Festival
The 50th Anniversary of the Death of Gaspar Cassadó &
The 15th Anniversary of the Death of Chieko Hara

2016年は、20世紀を代表する世界的音楽家・チェリストのガスパール・カサド没後50年、戦前より国際的に活躍した日本人女性ピアニストの草分け、原智恵子没後15年にあたります。教育博物館では、この記念の年にカサド・原コレクションの目録を刊行、データベースを公開するとともに、カサド・原智恵子両氏を顕彰する記念行事を行います。

皆さまのご来場をお待ちいたしております。



ガスパール・カサド (1897-1966)
原智恵子 (1914-2001)

記念シンポジウム「玉川大学教育博物館所蔵 ガスパール・カサド 原智恵子関係資料の意義 カサド作品の世界初演付き」

日時：2016年10月22日(土) 14:00 会場：玉川大学 University Concert Hall 2016

入場：無料 事前申込制(当館ホームページから申し込み)

主催：玉川大学教育博物館 共催：日本音楽学会東日本支部 協力：京都市交響楽団、玉川大学芸術学部 後援：文化庁、スペイン大使館、全日本音楽教育研究会大学部会

- 第1部
1. 基調報告：「ガスパール・カサド及び原智恵子関係資料の概要」 栗林あかね(玉川大学)
 2. ラウンドテーブル：「音楽家の資料整理と保存～カサド・原関係資料の意義～」 堤剛(チェリスト)、津上智実(神戸女学院大学)、岸本宏子(昭和音楽大学)、星野宏美(立教大学)、林淑姫(旧日本近代音楽館)
- 第2部
3. 実演付き解説：「アルペッジョーネ・ソナタとアルペッジョーネ協奏曲」 土居克行(作曲家)、ベアンテ・ボーマン(チェリスト)
 4. 演奏：ガスパール・カサド編曲/チェロ四重奏曲ほか 世界初演を含む チェロ 堤剛、ベアンテ・ボーマン、ドナルド・リッチャー、香月圭佑

記念演奏会 没後初・夫妻使用の楽器共演/カサド協奏曲の日本初演

日時：2016年10月23日(日) 14:00 開演(13:30 開場)

会場：玉川大学 University Concert Hall 2016 入場料：全席自由 5000円

主催：玉川大学教育博物館 協力：京都市交響楽団、玉川大学芸術学部 後援：文化庁、スペイン大使館

曲目：G. カサド/無伴奏チェロ組曲

チェロ独奏：堤剛(サントリー芸術財団代表理事・日本芸術院会員)

F. ショパン/ピアノ・ソナタ第3番 短調 op.58 *原智恵子のピアノを使用

ピアノ独奏：中井正子(東京藝術大学非常勤講師)

G. カサド/レクイエブロス(親愛の言葉)ほか 【没後初・夫妻使用の楽器共演】

チェロ：ドナルド・リッチャー(京都市交響楽団チェロ奏者)

ピアノ：松川儒(玉川大学芸術学部准教授)

G. カサド/緑の悪魔の踊り*

チェロ独奏：香月圭佑(東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団チェロ奏者)

G. カサド/チェロ協奏曲* 【日本初演】

チェロ独奏：ベアンテ・ボーマン(元東京交響楽団首席チェロ奏者)

*指揮：野本由紀夫(玉川大学管弦楽団顧問・常任指揮者・玉川大学芸術学部教授)

*管弦楽：玉川大学管弦楽団

報 告

カサド・原智恵子資料整理・調査委員会

2016年3月31日に、「ガスパール・カサド及び原智恵子関係資料整理・調査プロジェクト」委員会の第4回報告会を開催し、2015年度の進捗状況を報告しました。2016年は、カサド没後50年、原没後15年に当たり、秋にはコレクション目録の刊行及びデータベースのウェブ公開を控えています。また、特別展・シンポジウム・演奏会からなる記念祭（3～4頁参照）を予定していることから、有識者委員から有益なご意見を頂きました。



焼き物大好きの未来世代育成プログラム



焼き物大好きの未来世代育成プログラム [さわる]

8月9日、「焼き物大好きの未来世代育成プログラム」(2頁参照)に参加する子供達が、当館で所蔵する焼き物の[さわる]体験をしました。出土品の土器のほか、当日引き続き行う陶器制作に関連する印花・画花文様の陶器、角皿等を手に取りながら、それぞれの違いを体感しつつ、焼き物に親しんでももらいました。

博物館実習

2016年8月10日から16日まで、本学通信教育部の「夏期スクーリング」で博物館実習を開講し、合計35名が受講しました。



統計 (2015年10月～2016年3月)

本館

開館日数	110日	入館者数	2135名
収集			
〔資料〕	日本教育史	33件	
	芸術	154件	
〔図書〕	和書	242冊	洋書9冊
〔定期刊行物〕	和雑誌	31冊	
	洋雑誌	18冊	

資料をご寄贈いただきました (順不同・敬称略 2016年2月～7月)

野間 輝一 同窓会報 1点
岩波 律子 教育史関係資料 14点
鈴木 忠夫 同窓会報 2点
及川久美子 原智恵子使用トランク 1点

杉山 武敏 同窓会報 1点
小林 善帆 教育史関係資料 2点
利光 功 教育史関係資料 1点
ありがとうございました

2016年度下半期 開館カレンダー

2016年10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2017年1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

10月17日(月)～1月22日(日) 特別展「デュオ・カサド」

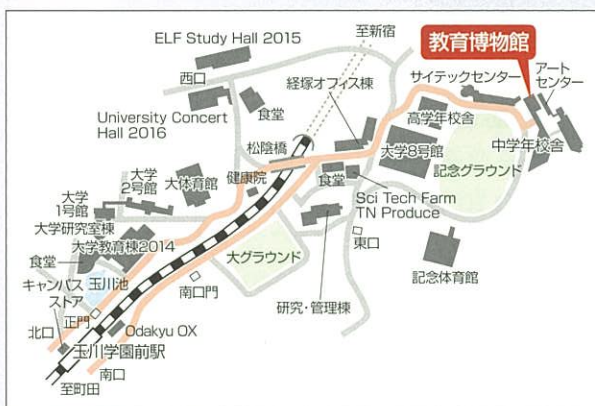
10月31日(月)～11月13日(日)「焼き物大好き！子供作品展」

休館日

第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

※ この予定は、大学授業・行事日程等により変更することがあります。

詳細は当館ホームページをご覧ください。電話等にてお問い合わせください。



交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15分
 駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門(南口)に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。

(来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。)

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時
 (入館は午後4時30分まで)

休館日 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間
 (展覧会会期中並びに日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。)

入館料 無料

博物館ニュース SHŪ No.47

2016年9月20日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/campus/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。